

2022年3月22日

各位

興和株式会社

**興和 インドにおける石炭火力発電に係る
アンモニア混焼技術の共同検証の実施**
～ 今後、SDGs 達成に向けて、クリーン燃料の利活用モデルを開拓 ～

興和株式会社は、この度、インド民間最大の独立系発電事業会社（IPP）である ^{アダニ} ^{パワー} Adani Power Ltd.（以下、APL）および株式会社 IHI（以下、IHI）と3社共同で、インド国内の石炭火力発電からの CO₂ 排出量削減を目指し、APL 所有の ^{アダニ} ^{パワー} ^{ムンドラ} Adani Power Mundra 石炭火力発電所へのアンモニア混焼の適用の技術および経済性の検証を共同で行うことに至り、MoU（基本合意書）に調印しました。当該発電所における既設石炭焚きボイラへのアンモニア 20%混焼の実施を前提とした各種技術検討等を行っていきます。また、将来的に専焼まで混焼率を拡大していくために検討と議論を行っていきます。

インドでは国家の方針として 2070 年の GHG 排出量ゼロを目指しており、化石燃料を使用している火力発電所において、将来、水素・アンモニアを利用していくことを検討しています。APL ではこの方針を踏まえて、自社の石炭火力アセットに対して適用する燃料アンモニアの利活用の技術について調査を進めていました。興和は、APL の意向を受けて、世界中に広く水素・アンモニアに関連する技術の調査を行い、APL の取り組みを支援してまいりました。IHI は石炭火力発電におけるアンモニア混焼技術の開発を進め、日本での社会実証への準備を行いながら、海外からのアンモニア混焼に関連する多くの問い合わせ等に対応してまいりました。この度、この3社で協議した結果、インドにおけるアンモニア 20%混焼をより現実的なものへと発展させていくために、調査事業を行う運びとなりました。

3社は、今回のアンモニア混焼に関する検討を、APL 所有の他石炭火力発電所やインド国内他石炭火力へ展開することも見据えております。この取り組みは 2022年3月19日にインドと日本の両国政府より発表された、エネルギー安全保

障の確保、カーボンニュートラルと経済成長の実現を目的とした「日印クリーン・エネルギー・パートナーシップ（CEP）」とも合致しております。

興和は脱炭素社会に貢献する取り組みを国内外で展開しており、インドにおける今回の共同検証はその取り組みの一環となります。アダニグループとは、2011年に包括的事業提携を結び、日系企業との橋渡しを担ってまいりました。今後につきましては、SDGs 達成に向けて、クリーン燃料として注目されているグリーン水素・アンモニアの多様な利活用モデルを開拓することにより、グローバルなカーボンニュートラルに貢献してまいります。

以 上